



仙波糖化工業株式会社

証券コード：2916

2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年11月29日

目次

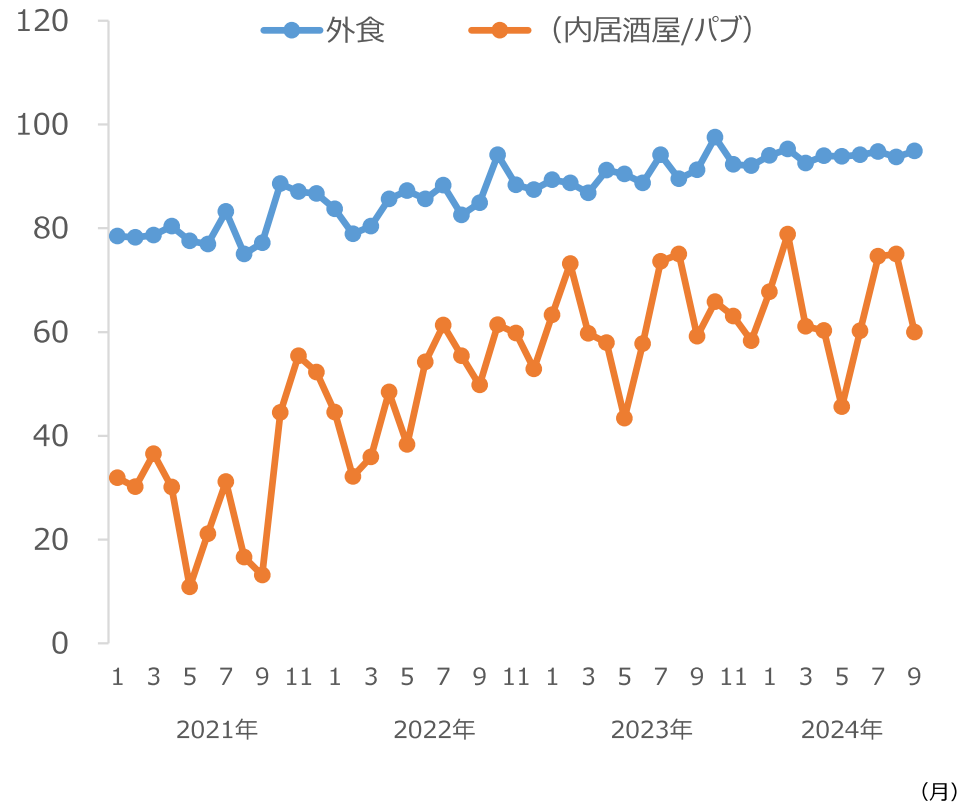
I	2025/3期 第2四半期の決算概況	P 2
II	重点施策の進捗状況	P15
III	2025/3期の業績予想	P23
	参考資料	P27

I 2025/3期 第2四半期の決算概況

外食来店客数は、新型コロナ禍以前に戻りつつあるが、居酒屋/パブの回復は遅れる

夏季に円高加速し1年前の水準に戻るも、再び円安基調に

外食来店客数推移（全店ベース）
（2019 = 100）



(出所) 日本フランチャイズチェーン協会、日本フードサービス協会

為替推移



(出所) 日本経済新聞

- ✓健康食品受託の減少と海外子会社の連結除外の影響で2.0%減収だが、事業継承ベースでは1.6%の増収
- ✓自社商材の拡販効果などにより、15.3%の営業増益
- ✓経常利益は、為替差益計上もあり期初予想を上回る

(単位：百万円、円)

	2024/3上期		2025/3上期			
	金額	前同比伸び率	金額	前同比伸び率	従前予想	予想比
売上高	9,442	+1.8%	9,257	▲2.0%	9,500	▲2.6%
営業利益	259	+10.9%	299	+15.3%	320	▲6.5%
経常利益	386	▲7.6%	405	+4.9%	325	+24.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益	303	▲15.5%	261	▲13.9%	225	+16.3%
1株純利益	26.70	-	22.98	-	19.75	+3.23
設備投資額	405	+137	253	▲152		
減価償却費	451	▲26	416	▲34		
研究開発費	126	+4	142	+16		

(注) 中国龍和食品は、2Q以降持分法を適用

製品区分別売上実績

【2025/3期上期】

- ✓ 自社商材は、カaramel製品と粉末茶が牽引し、6.2%増収
- ✓ 受託商材は、健康食品関連の大幅減少を主因に17.8%減収
- ✓ 海外売上比率は、中国龍和食品の連結除外により半減

(単位：百万円)

	2024/3上期		2025/3上期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	伸び率
売上高	9,442	100.0%	9,257	100.0%	▲185	▲2.0%
カaramel製品	2,057	21.8%	2,222	24.0%	+165	+8.0%
乾燥製品類	2,912	30.8%	3,369	36.4%	+457	+15.7%
組立製品類	1,818	19.3%	1,502	16.2%	▲316	▲17.4%
冷凍製品	2,090	22.1%	1,632	17.7%	▲458	▲21.9%
その他	563	6.0%	529	5.7%	▲34	▲6.1%
自社商材	6,237	66.1%	6,624	71.6%	+387	+6.2%
受託商材	3,205	33.9%	2,633	28.4%	▲572	▲17.8%
海外売上高	1,001	10.6%	419	4.5%	▲582	▲58.1%

(為替レート：円/元)

19.45

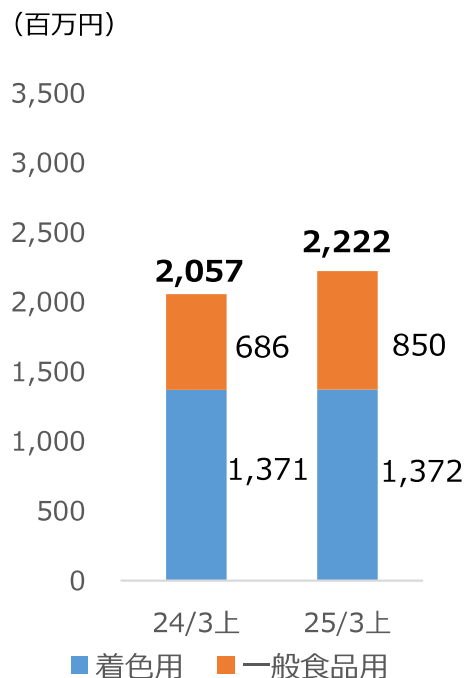
21.05

+1.60

製品区分別売上詳細

【2025/3期上期】

カラメル製品



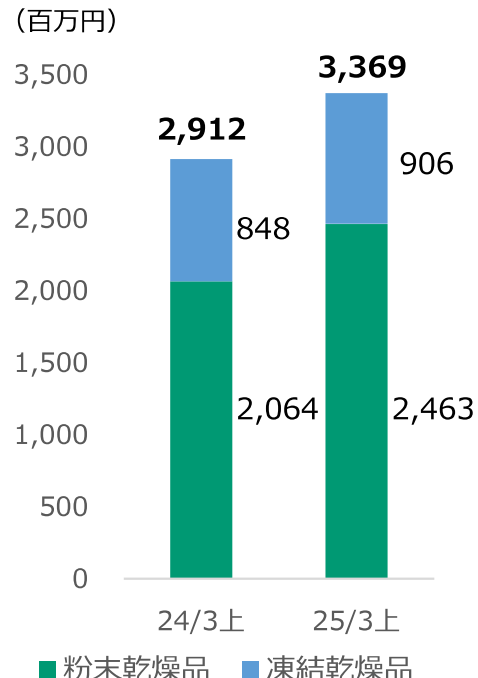
一般食品用

- ・鶏卵不足解消でプリン向け回復
- ・新製品の拡販効果

着色用

- ・国内は堅調だが海外は調整

乾燥製品類



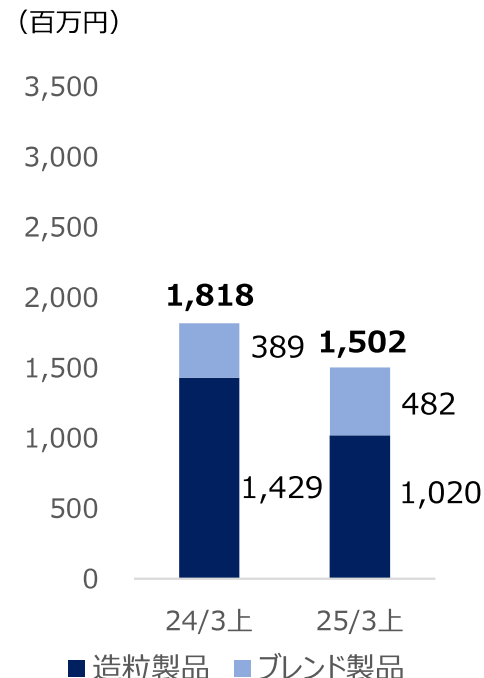
凍結乾燥製品

- ・国内の即席麺向けが回復

粉末乾燥製品

- ・粉末調味料類堅調
- ・粉末茶回復
- ・ベトナムSD設備稼働効果

組立製品類



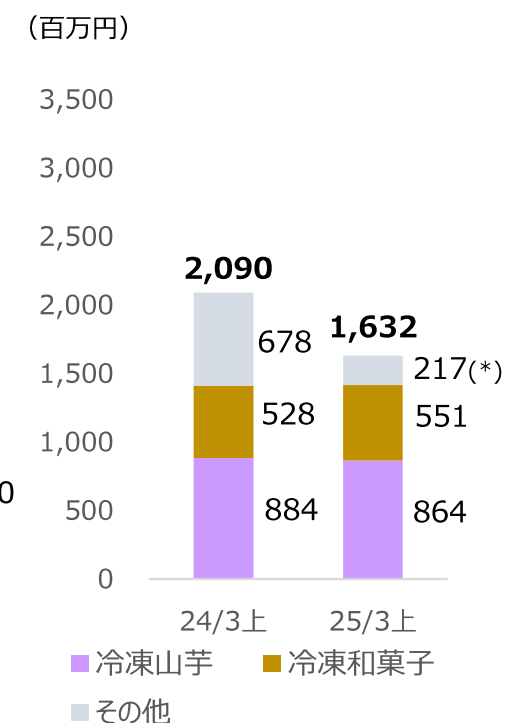
ブレンド製品

- ・スープ・ソース類堅調

造粒製品

- ・健康食品受託が大幅減

冷凍製品



その他

- ・中国の冷凍デザート減少

冷凍和菓子

- ・どら焼き・ドームケーキ堅調

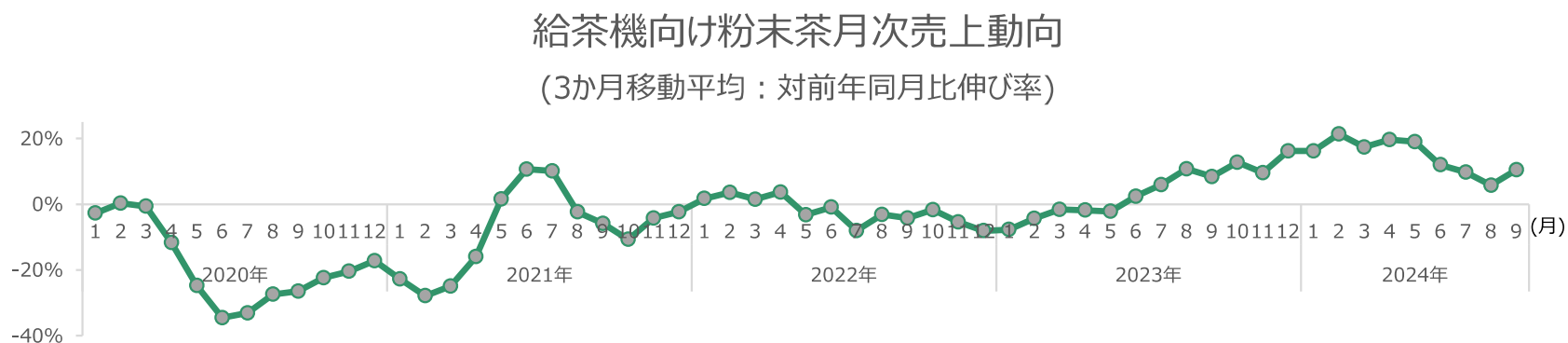
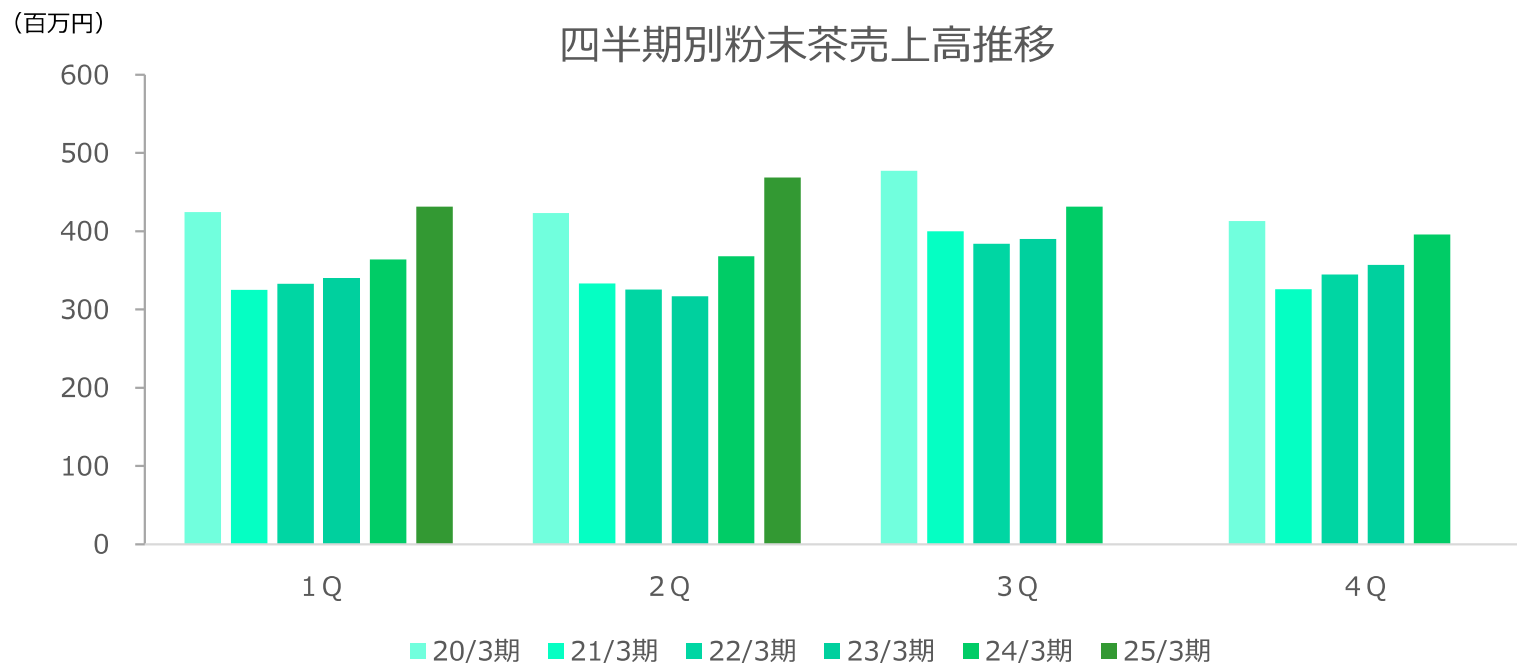
冷凍山芋

- ・一部外食向けの需要減

(注*) 龍和食品の連結除外の影響大

①粉末茶

✓ 給茶機向けの需要回復と新規顧客開拓効果

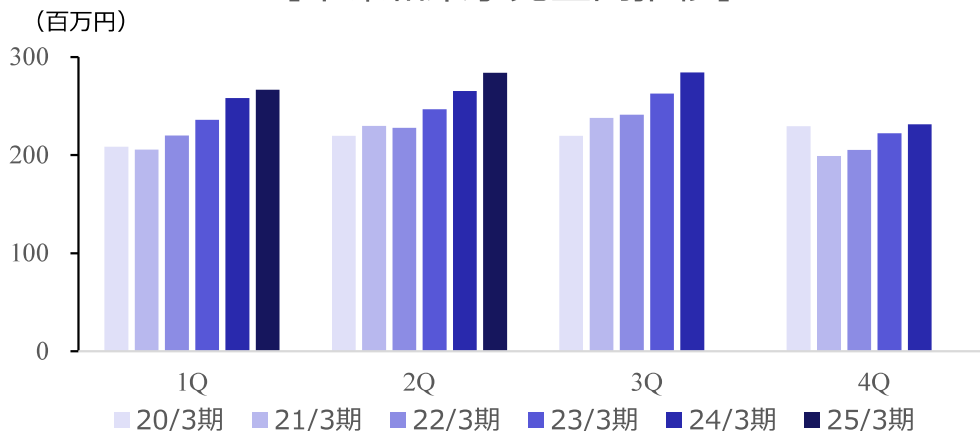


②冷凍製品

- ✓ 冷凍和菓子は、どら焼き・ドームケーキが堅調
- ✓ 冷凍山芋は、鶏卵不足解消に伴う外食向け仮需の反動減

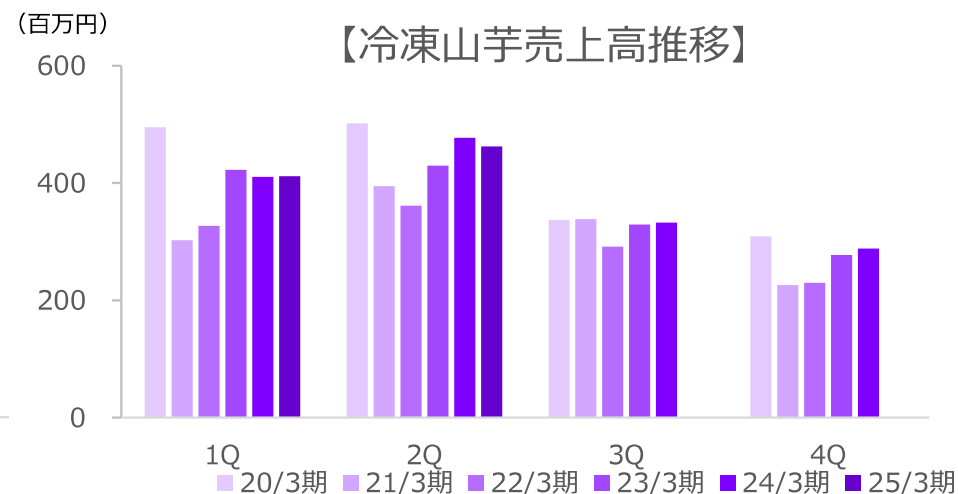
冷凍和菓子

【冷凍和菓子売上高推移】



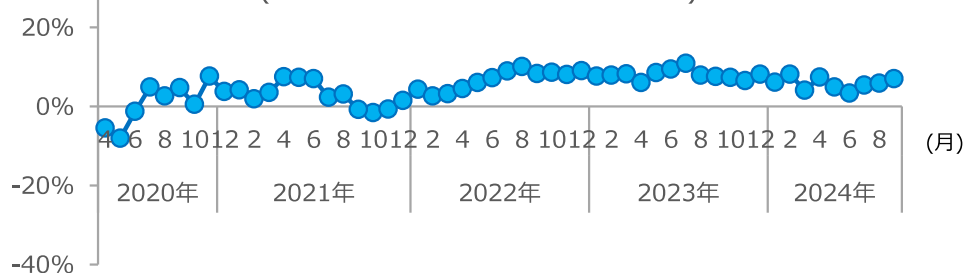
冷凍山芋

【冷凍山芋売上高推移】



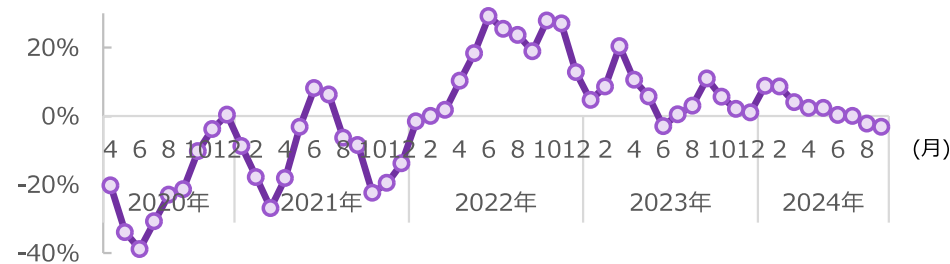
【冷凍和菓子月次売上動向】

(3ヶ月移動平均前年同月比伸び率)



【冷凍山芋月次売上動向】

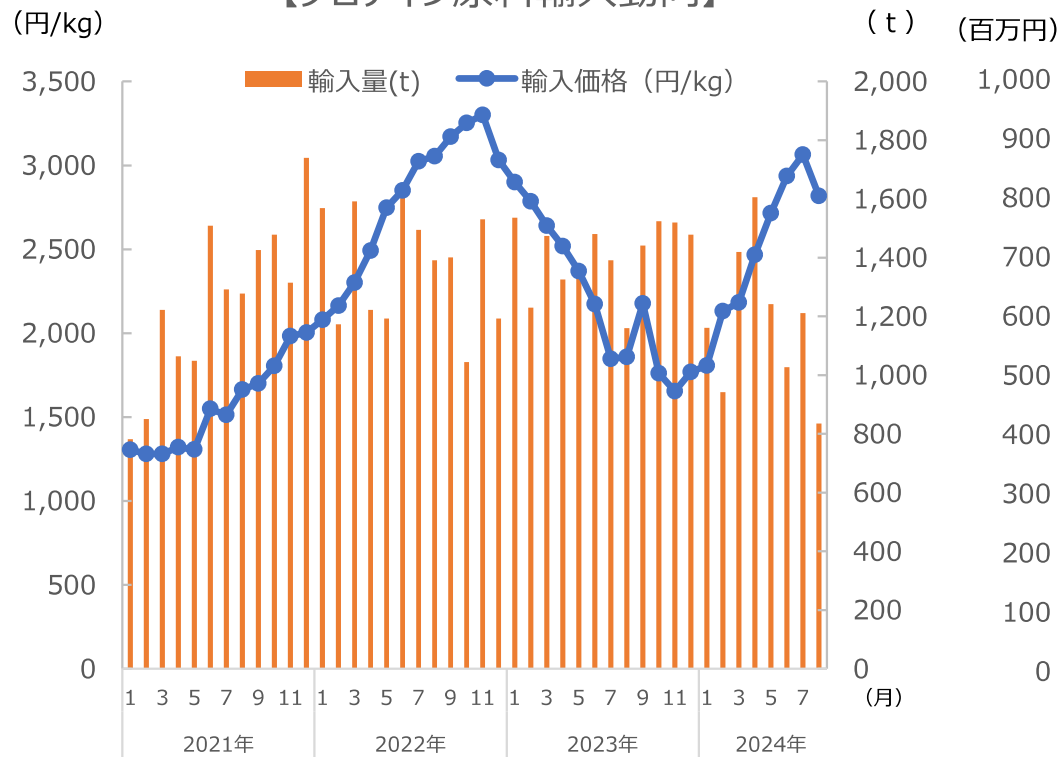
(3ヶ月移動平均前年同月比伸び率)



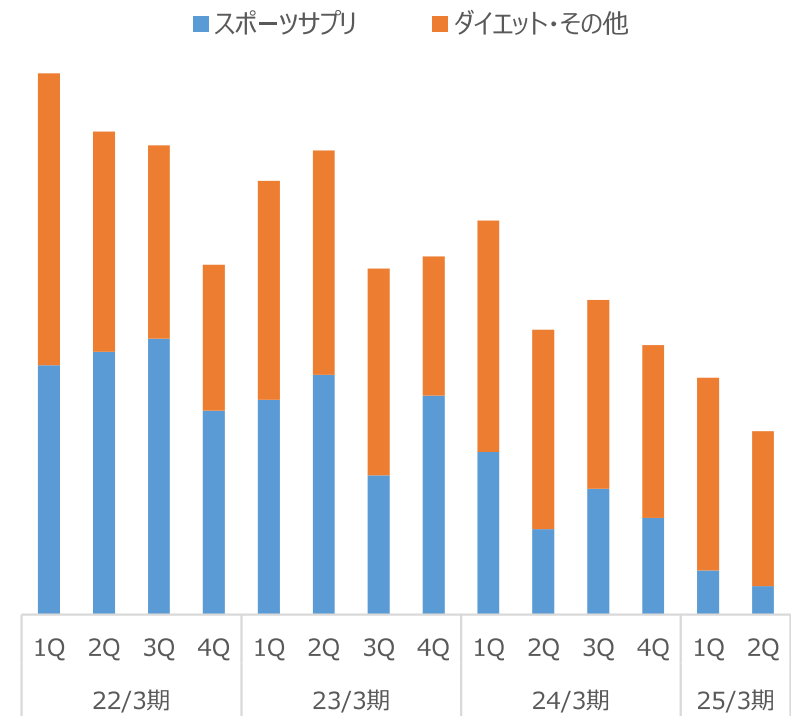
③健康食品受託

- ✓ ダイエット・その他は底打ちだが、スポーツサプリの低迷続く
- ✓ 物価上昇で消費者の購買意欲に影響か

【プロテイン原料輸入動向】



【健康食品受託売上高推移】



プロテイン原料：ミルクアルブミン（2以上のホエイたんぱく質の濃縮物を含む）

（出所）財務省貿易統計

- ✓原価率は、プロダクトミックス改善・値上げ効果などで1.1ポイント低下
- ✓営業利益率は、R&D費や販売費が増加するも原価率低下で0.5ポイント改善

(単位：百万円)

	2024/3上期		2025/3上期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	構成比変化
売上高	9,442	100.0%	9,257	100.0%	▲185	
売上原価	7,488	79.3%	7,235	78.2%	▲252	▲1.1ポイント
売上総利益	1,954	20.7%	2,021	21.8%	+66	+1.1ポイント
販管費	1,694	17.9%	1,721	18.6%	+26	+0.7ポイント
営業利益	259	2.7%	299	3.2%	+39	+0.5ポイント
営業外損益	126	1.3%	105	1.1%	▲20	▲0.2ポイント
経常利益	386	4.1%	405	4.4%	+18	+0.3ポイント
特別損益	—	—	6	0.1%	+6	+0.1ポイント
税引前利益	386	4.1%	411	4.4%	+25	+0.3ポイント
親会社株主に帰属する 中間純利益	303	3.2%	261	2.8%	▲42	▲0.4ポイント

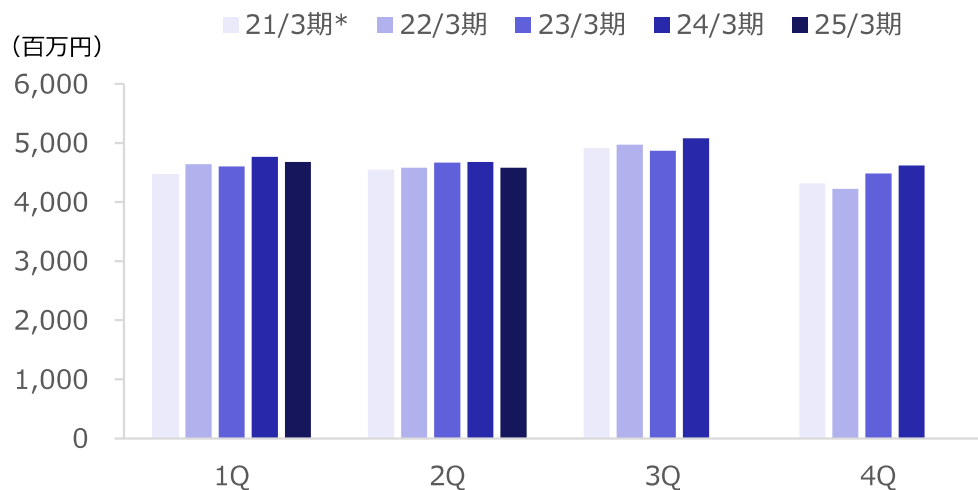
【営業外損益】

	(百万円)	
	24/3上	25/3上
営業外収益	167	→ 158
営業外費用	41	→ 52
(金融収支)	▲10	→ 15
(為替差益)	123	→ 99

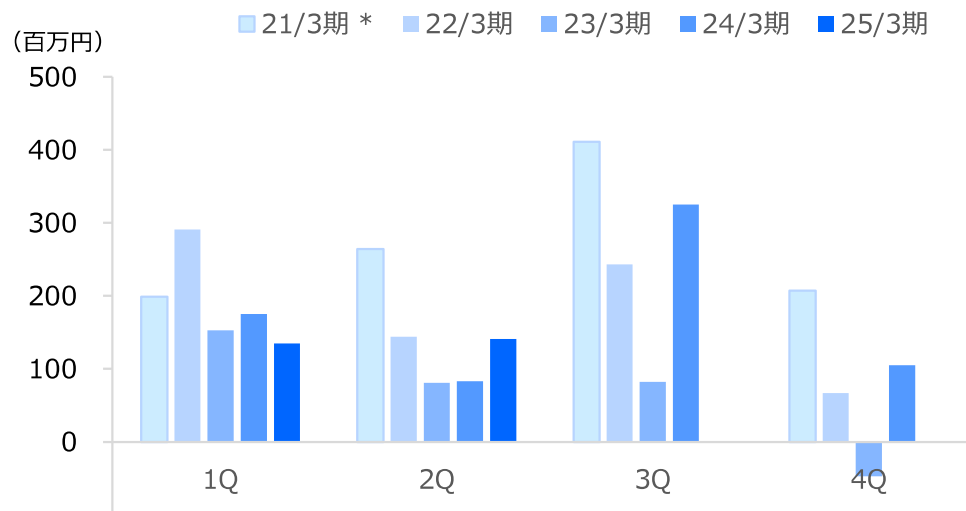
四半期業績推移

【2025/3期上期】

四半期売上高推移



四半期営業利益推移



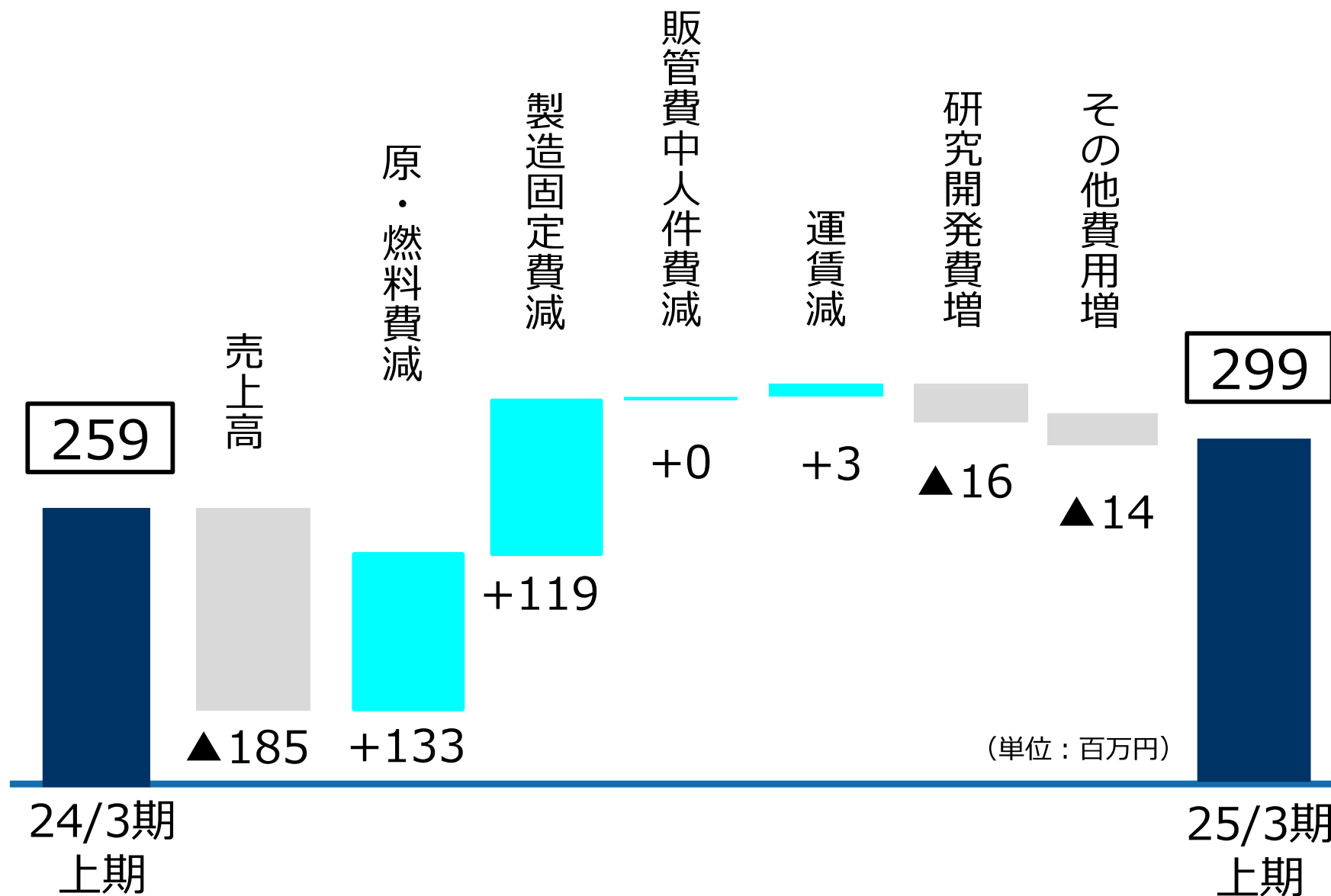
(注*) 21/3期は新会計基準に基づく試算値

(単位：百万円)

	22/3期				23/3期				24/3期				25/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	4,641	4,582	4,970	4,225	4,603	4,669	4,868	4,479	4,765	4,677	5,077	4,617	4,677	4,580
カaramel製品	902	921	1,030	899	988	998	1,076	958	1,038	1,019	1,176	998	1,091	1,131
乾燥製品類	1,423	1,366	1,556	1,424	1,438	1,381	1,616	1,480	1,416	1,495	1,683	1,590	1,667	1,702
組立製品類	1,231	1,208	1,241	972	1,046	1,095	938	910	1,007	811	984	960	780	722
冷凍製品	808	815	839	655	845	923	906	851	1,035	1,054	895	796	871	761
その他	276	271	304	276	283	270	330	277	267	296	338	273	267	262
営業利益	291	144	243	67	153	81	82	▲46	175	84	325	105	135	164

営業利益増減分析

【2025/3期上期】



(※)龍和食品の連結除外に伴い、売上高、営業利益が減少

要約貸借対照表

【2025/3期上期】

(単位：百万円)

	2024/3末	2024/9末	増減額
流動資産	11,847	10,786	▲1,061
現金及び預金	3,449	2,992	▲456
受取手形及び売掛金※	4,594	4,183	▲411
棚卸資産	3,434	3,431	▲3
固定資産	11,158	9,431	▲1,727
有形固定資産	7,113	5,183	▲1,930
無形固定資産	729	563	▲166
投資その他資産	3,314	3,684	369
資産合計	23,006	20,217	▲2,788

棚卸資産	▲3 百万円
・商品・製品	+185 百万円
・仕掛品	▲29 百万円
・原材料・貯蔵品	▲159 百万円

※電子記録債権を含む

流動負債	7,818	6,219	▲1,599
支払手形及び買掛金※	2,405	1,911	▲494
短期借入金	3,809	2,898	▲910
固定負債	2,470	2,053	▲417
長期借入金	571	468	▲103
負債合計	10,289	8,272	▲2,017
純資産合計	12,716	11,945	▲771

有利子負債	▲1,014 百万円
・短期借入金	▲910 百万円
・長期借入金	▲103 百万円

⇒自己資本比率 **59.0%**
(+7.3ポイント)

※電子記録債務を含む

要約キャッシュ・フロー計算書

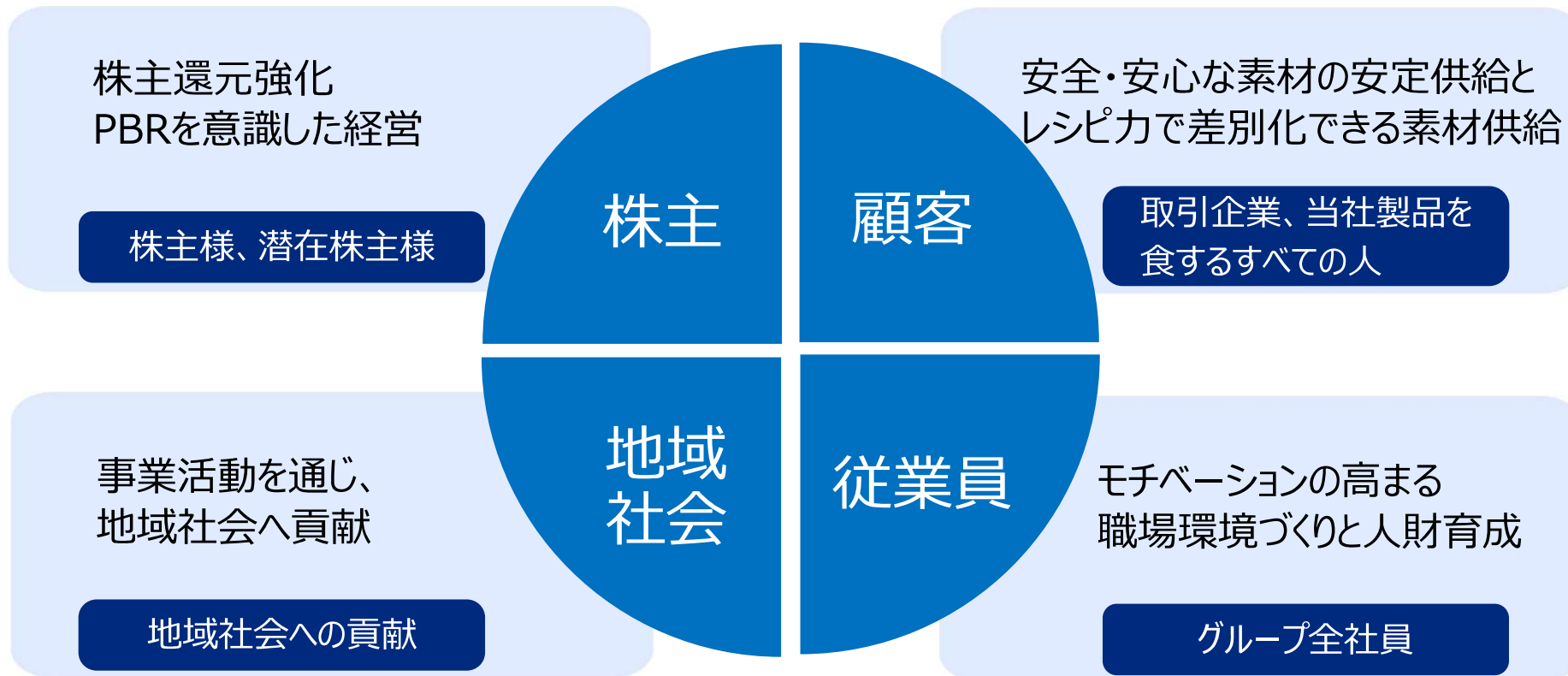
【2025/3期上期】

(単位：百万円)

	2024/3 上期	2025/3 上期
営業キャッシュ・フロー	466	293
税金等調整前中間純利益	386	411
減価償却費	451	416
売上債権の増減額（▲は増加）	▲338	444
棚卸資産の増減額（▲は増加）	290	61
仕入債務の増減額（▲は減少）	▲234	▲536
法人税等の支払額	▲53	▲175
投資キャッシュ・フロー	▲284	▲658
有形固定資産の取得による支出	▲280	▲142
財務キャッシュ・フロー	▲396	▲146
有利子負債の純増減額（▲は減少）	▲208	46
配当金の支払額	▲167	▲170
現金及び現金同等物の増減額	▲181	▲456
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,985	2,977

Ⅱ 重点施策の進捗状況

100年企業に向けた強固な基盤構築



より良いものを作り、顧客信頼度を向上させ、
収益を伸ばすことで株主様、従業員、地域社会への還元を増やす

基本戦略

グループ経営力強化

- ◆ 単体経営からの脱却
- ◆ 子会社の管理強化

自社商材拡販

- ◆ 開発強化
- ◆ 提案営業強化

海外市場開拓

- ◆ 東南アジア市場

営業キャッシュフローの最大化を目指す

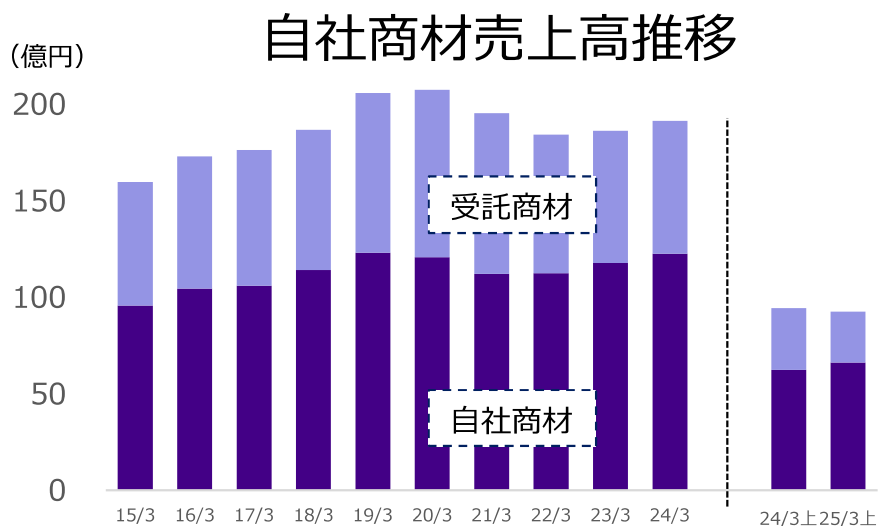
成長投資資金の確保と還元強化

注) 営業キャッシュフロー = 営業利益 + 減価償却費

当面の対応強化

海外事業の収益貢献化

基本戦略の成果

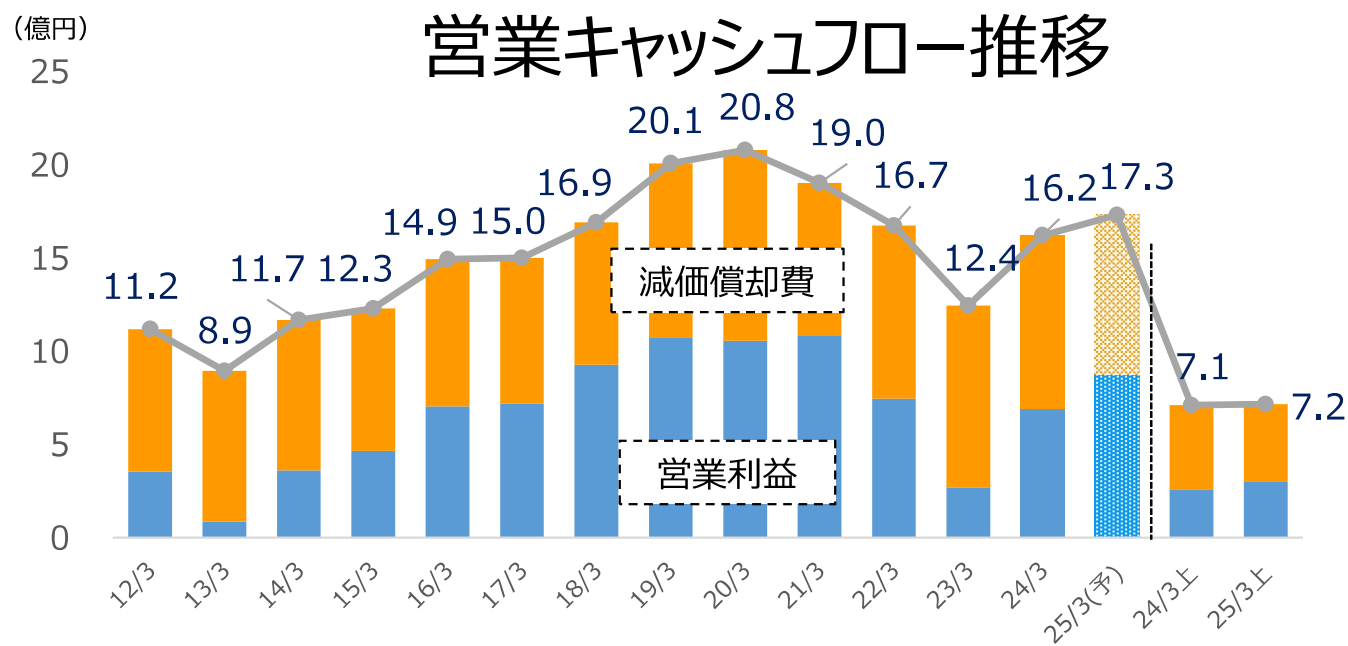


海外市場向け売上高推移

(単位：百万円)

	19/3*1	20/3*1	21/3*1	22/3	23/3	24/3	24/3 上期	25/3 上期*2
海外売上高	1,497	1,403	1,304	1,338	1,520	1,795	1,001	419
海外売上比率	7.3%	6.8%	7.2%	7.3%	8.2%	9.4%	10.6%	4.5%
海外子会社	1,465	1,342	1,281	1,315	1,496	1,767	984	404
輸出	32	61	23	23	24	27	17	15

(注*1) 20/3期以前は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値
 (注*2) 龍和食品は、25/3期2Qから連結除外

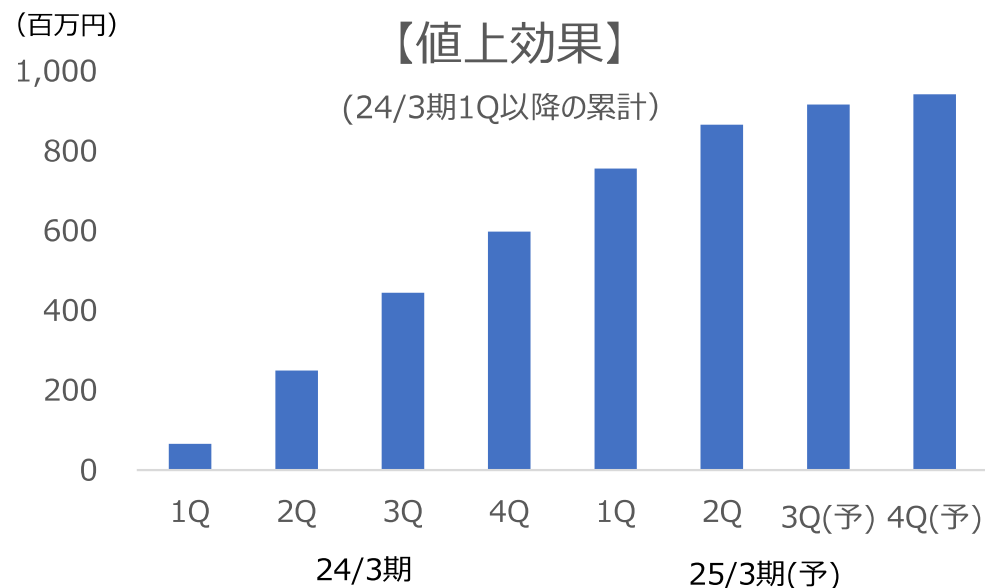


重点施策の進捗状況

今期の重点施策

① 継続的な値上げ

→ ほぼ計画線で進行



② ステルスの影響を受けない新規自社商材の開発・上市

→ 上期の新規商材開発は、38品。内2/3が自社商材

自社ブランド (Mocafoomo) のアイスクリームを発売予定
当初は、さくら風味とほうじ茶を通販、道の駅の販売からスタート

Mocafoomo = Moka × Profumo

栃木県真岡 (Moka) 市で生まれた素材の香りを活かした香料不使用のアイスクリーム。
イタリア語で香りを意味する“Profumo” と掛け合わせて名付けました。

販売開始のアイスクリーム



さくら風味

ほうじ茶

海外事業の進捗状況

③ 中国事業の見直し及びベトナム事業の早期黒字化

中国事業

→ カラメル製品の開発提案を強化するも、経済環境悪化の影響を受ける

ベトナム事業

→ 生産部門の人員拡大
新規大口顧客の最終評価待ちで、当初の納入計画にやや遅れ

【海外事業収益】

(単位：百万円)

	23/3期	24/3期	25/3期 計画	24/3期 上期	25/3期 上期
中国事業					
売上高	2,375	2,628	(※1)160	(※2)1,369	(※1)53
営業利益	▲204	10	▲5	33	▲7
ベトナム事業					
売上高	154	256	501	111	140
営業利益	▲123	▲50	35	▲37	▲38
【為替レート】					
(¥/元)	19.48	19.82	21.50	19.45	21.05
(¥/VND)	0.005728	0.006022	0.006022	0.005913	0.006278

(※1) 龍和食品は、連結除外に伴い、25/3期の収益予想ならびに実績に含めず

(※2) 事業継承ベースの売上高は、77百万円

【海外事業従業員】

(単位：人)

	従業員数 (臨時雇用者除く)		出向者	
	23/12 末	24/9 末	23/12 末	24/9 末
福州仙波	11	11	中国事業	
龍和食品	100	—	4	2
SEMBA-NFC	5	5	ベトナム事業	
STVC*	40	44	6	6

STVC*: SEMBA TOHKA VIETNAM COMPANY LIMITED

海外事業の見通し

中国事業

龍和食品

持分法適用会社に変更し、日本向けFD製品の供給を継続

福州仙波

【生產品目】

粉末製品

キャラメル製品

上海事務所



聖域なくビジネスモデルを見直す
早期の結論に向けて検討中

ベトナム事業

SD設備の本格稼働で黒字転換を見込む

【製造子会社】

STVC

(100%出資)

【生產品目】

粉末製品

キャラメル製品

【販売子会社】

SEMBA-NFC

(60%出資)

STVC社の生産計画

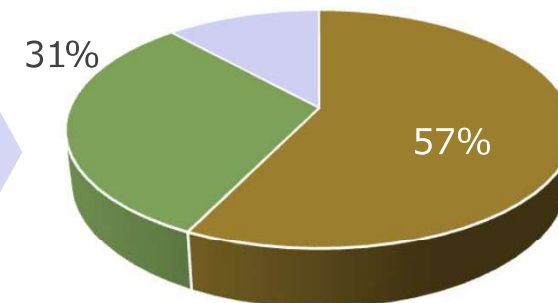
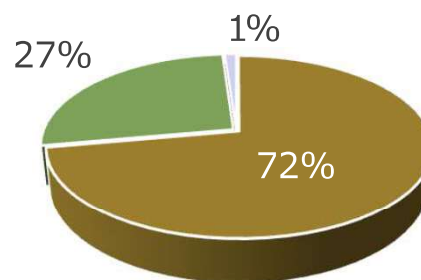
【24/3期】

2.3億円

(金額ベース)

【25/3期計画】

5.3億円



■キャラメル製品 ■SD製品 ■ブレンド製品

■キャラメル製品 ■SD製品 ■ブレンド製品

環境対応を含め、業務効率化と更なる生産性向上を目指す

【新工場建設予定地】



(出所)真岡市役所HP

1. 取得の理由
既設工場の老朽化等による諸問題を解決し収益基盤の強化を実現する
2. 取得する固定資産（土地）の概要
 - (1) 所在地 栃木県真岡市寺内（真岡てらうち産業団地）
 - (2) 取得価額 約 16 億 66 百万円
 - (3) 資金計画 自己資金および借入金等（予定）
 - (4) 土地面積 約 66,376 m²
3. 取得の日程
土地売買契約締結及び土地引渡し 2027 年 3 月（予定）



(出所)真岡市役所HP

Ⅲ 2025/3期の業績予想

健康食品受託品低迷を主因に売上予想を減額

- ✓カaramel製品は、国内需要堅調と海外需要を取り込む
- ✓乾燥製品類は、即席麺向け製品回復に加え、粉末茶が増額
- ✓組立製品類は、健康食品受託の回復遅れる
- ✓冷凍製品は、国内冷凍和菓子堅調だが海外子会社の連結除外が影響

(単位：百万円)

	2024/3期			2025/3期予想				
	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)	伸び率	従来予想
売上高	9,442	9,694	19,137	9,257	9,943	19,200	+0.3%	19,800
カaramel製品	2,057	2,174	4,231	2,222	2,578	4,800	+13.4%	4,800
乾燥製品類	2,912	3,272	6,184	3,369	3,431	6,800	+10.0%	6,650
組立製品類	1,818	1,945	3,763	1,502	1,948	3,450	▲8.3%	4,000
冷凍製品	2,090	1,691	3,782	1,632	1,318	2,950	▲22.0%	3,150
その他	563	612	1,175	529	671	1,200	+2.1%	1,200

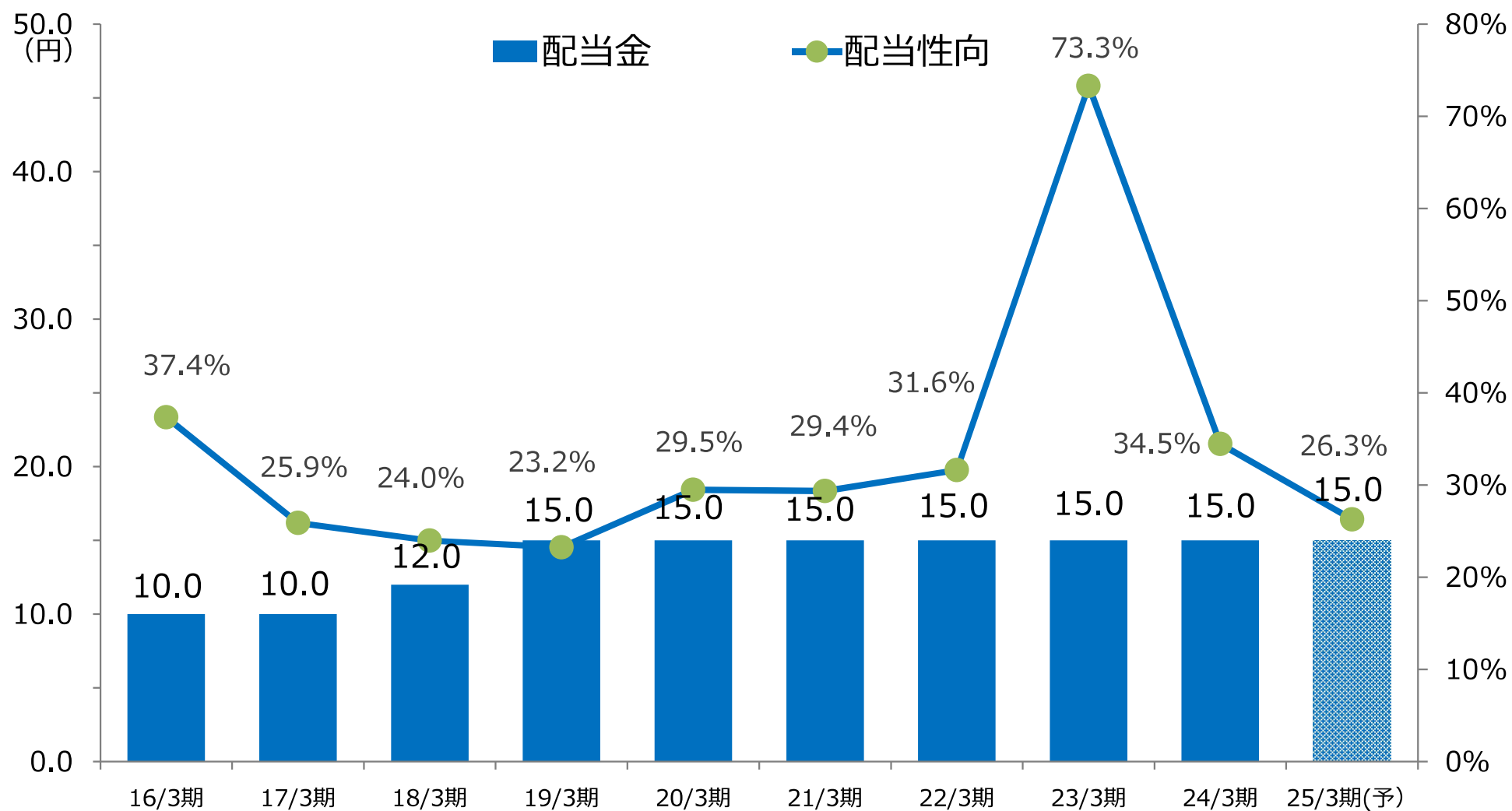
プロダクトミックス改善や値上げ効果浸透で利益予想を据え置く

- ✓ 円安進行でコストは上昇するも、自社商材拡販と値上浸透で営業利益は27.4%増益を予想
- ✓ 為替差益が減少するも、経常利益は19.2%増益へ

(単位：百万円、円)

	2024/3期			2025/3期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)	伸び率
売上高	9,442	9,695	19,137	9,257	9,943	19,200	+0.3%
営業利益	259	431	690	299	581	880	+27.4%
経常利益	386	369	755	405	495	900	+19.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	303	192	495	261	389	650	+31.2%
1株純利益	26.70	16.82	43.52	22.98	34.11	57.09	-
設備投資額			576			1,126	
減価償却費			932			851	
研究開発費			271			304	

〈為替レート前提〉 24/3期:19.82円/元、145円/ドル、25/3期(予) : 21.5円/元、155円/ドル



參考資料

- 創業商材。国内シェアはトップ
- デザート用途向けを中心に高付加価値な新製品の開発に注力
- 海外市場取り込み強化で成長を目指す

着色用

- 清涼飲料やアルコール飲料の飲料向け
- ソース、カレー等、幅広い需要

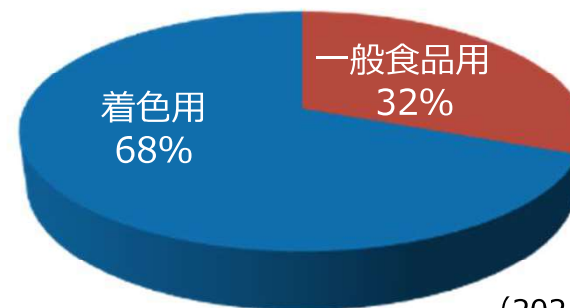
一般食品用

- プリン等のデザート向けやココ味調味料向けが主力
- 高級洋菓子やアイスクリーム向け好調

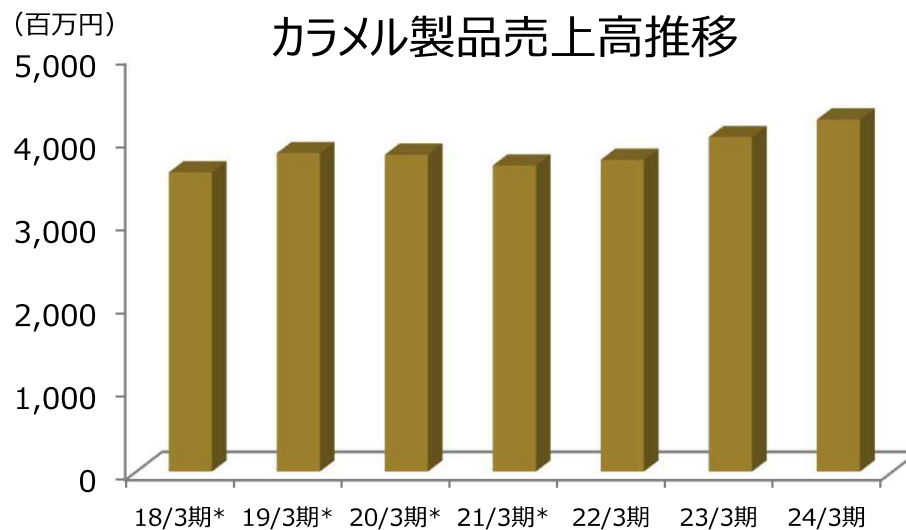
一般食品向け製品例



用途別キャラメル製品売上構成



キャラメル製品売上高推移



(注*) 21/3期以前は旧会計基準

- 売上高の約**80%**は B to B、粉末製品と凍結乾燥製品を手掛ける
- 粉末製品は、粉末茶や粉末調味料（味噌や醤油）などを販売
- 凍結乾燥製品は、野菜ブロックや粉末山芋が主力

当社の主力製造技術

粉末製品

スプレードライ(SD)技術

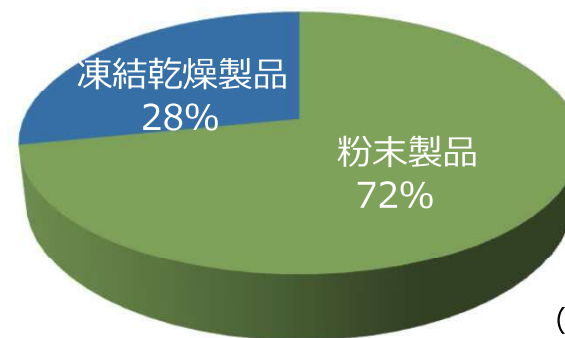
液状化した原料を霧状にし、加熱空気で瞬間的に粉末化する乾燥技術。乾燥工程が短く、大量生産に威力を発揮し、高品質で、低コストな製品の安定供給が可能。

凍結乾燥製品

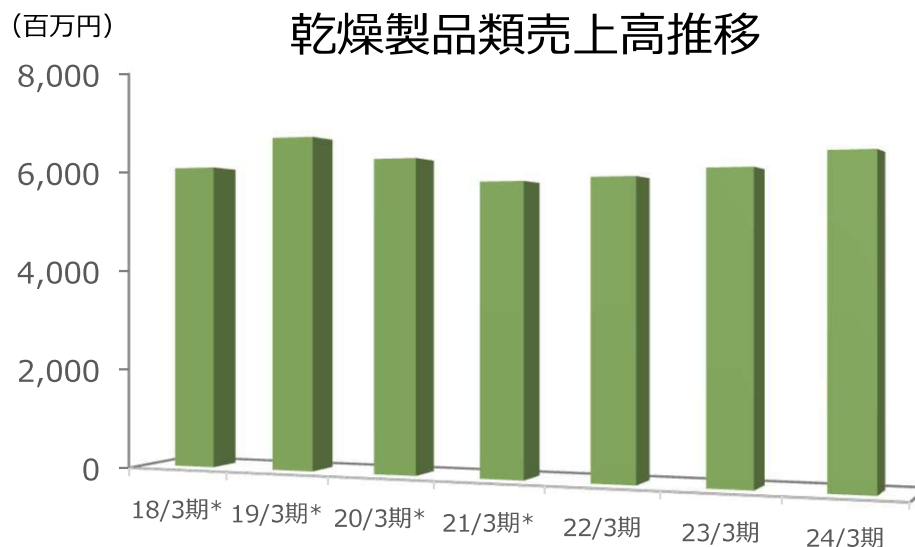
フリーズドライ(FD)技術

凍結させた原料を真空状態のもと、低温で乾燥させる技術。素材の色、味、香り、栄養をそこなく乾燥することが可能。保存性や簡便性に加えて、機能性が高い乾燥方法。

乾燥製品類売上構成



乾燥製品類売上高推移



(注*) 21/3期以前は旧会計基準

- 冷凍和菓子はメディケア市場向け中心に、約50種類を販売
- 冷凍山芋は業務用・CVS向け中心。取扱量は業界2位

【冷凍和菓子】

どら焼きやドームケーキの拡販続く



【参考：海外市場向け製品】

海外売上高は、中国子会社の持分法適用会社化（2024年6月）で今期2Qから売上計上がなくなる



【タピオカ】



【求肥】

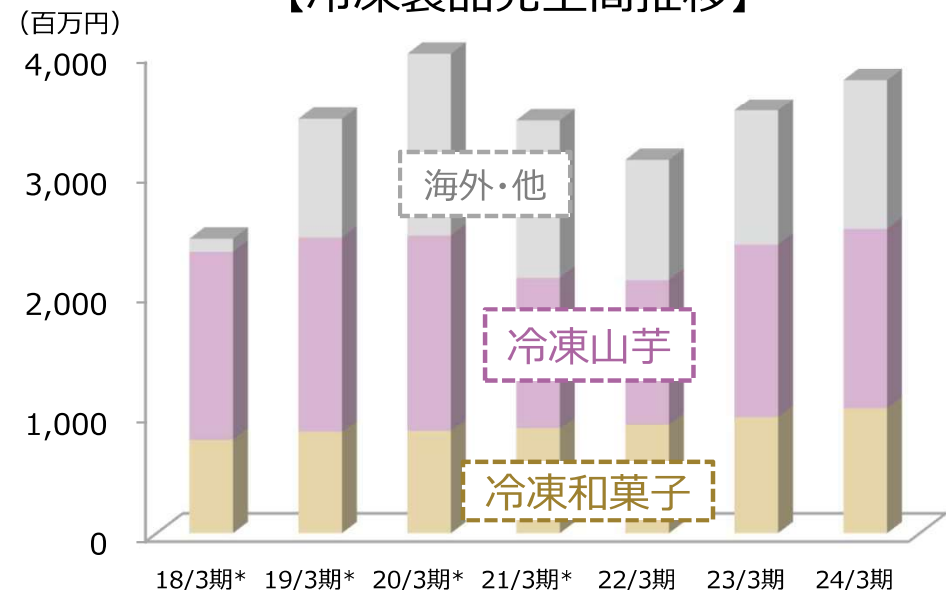


【白キクラゲ】

冷凍山芋



【冷凍製品売上高推移】



(注*) 21/3期以前は旧会計基準

- 造粒製品とブレンド製品とも受託加工が中心
- 溶け易くなどのキーワードで提案営業を強化
- 24/3期はスポーツサプリが大きく落ち込む

造粒とは

粉末食品の「溶けにくい」、「流動性が悪い」、「吸湿性が強い」等を改善し、より使い易い最終商品へ仕上げる。

造粒製品

スープ類、健康食品、スポーツ飲料、ココア等



ブレンドとは

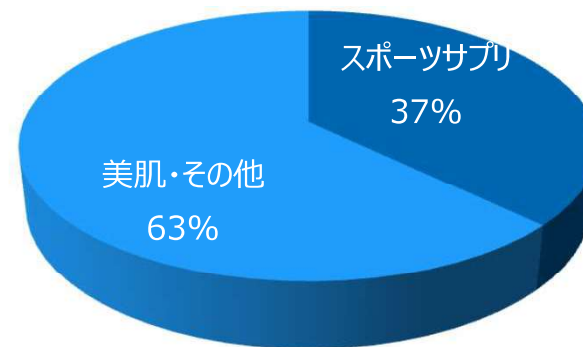
各種原料を混合し、原料の持ち味を活かした粉末状調味料やインスタント食品などを製造する。

ブレンド製品

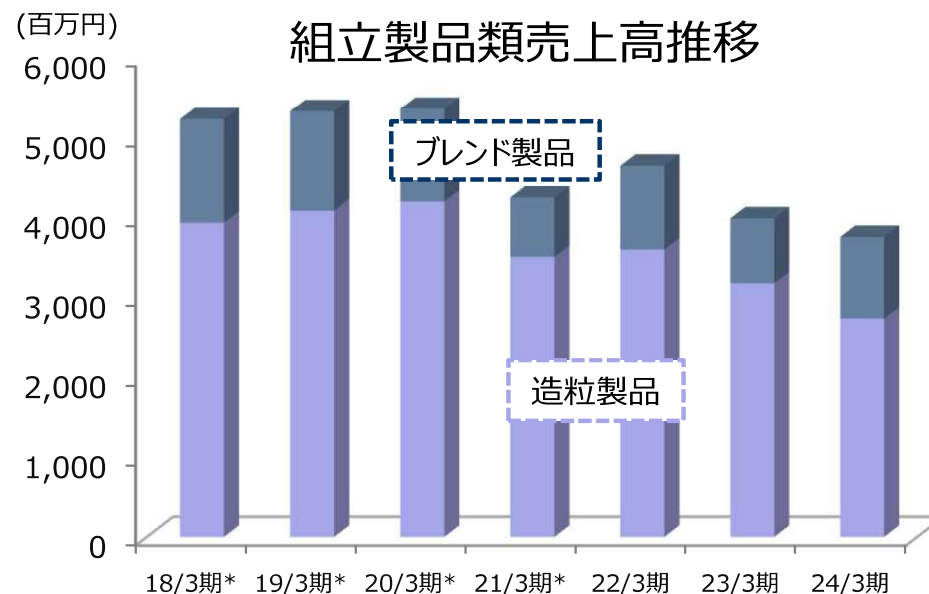
小麦粉ミックス、唐揚げ粉、みそ汁、粉末エキス等



健康食品の売上構成



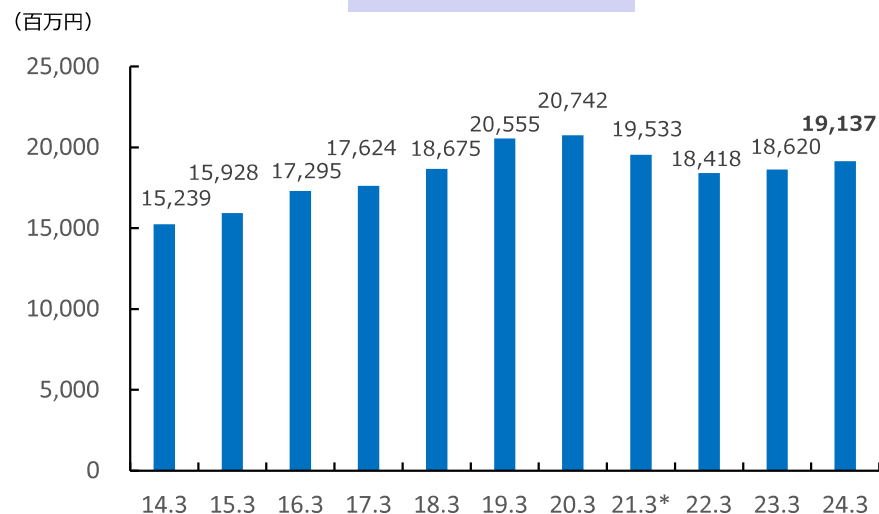
組立製品類売上高推移



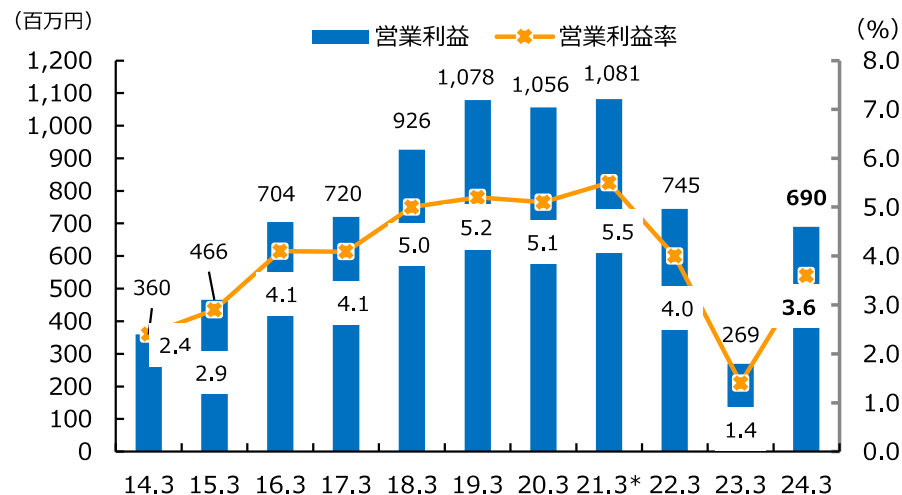
(注*) 21/3期以前は旧会計基準

主要財務データ①

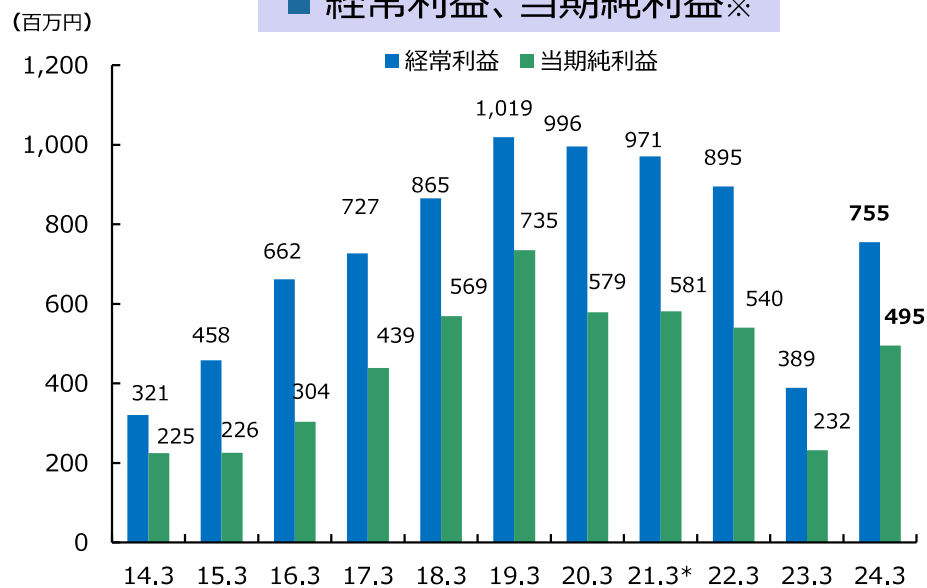
売上高



営業利益

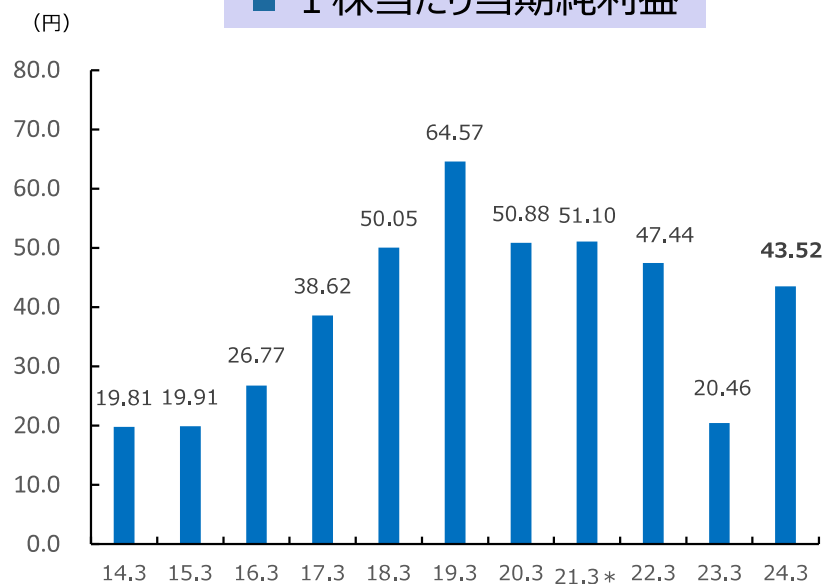


経常利益、当期純利益※



(注※) 親会社に帰属する当期純利益

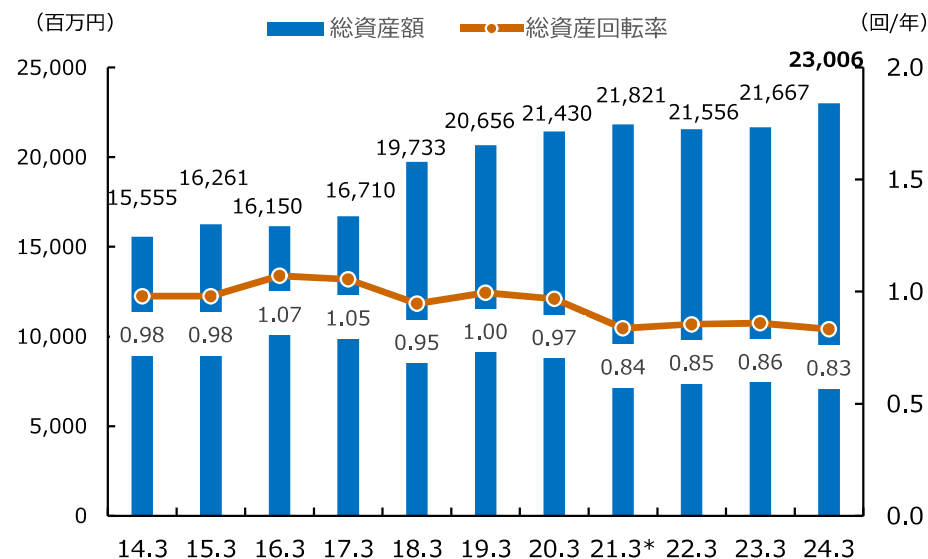
1株当たり当期純利益



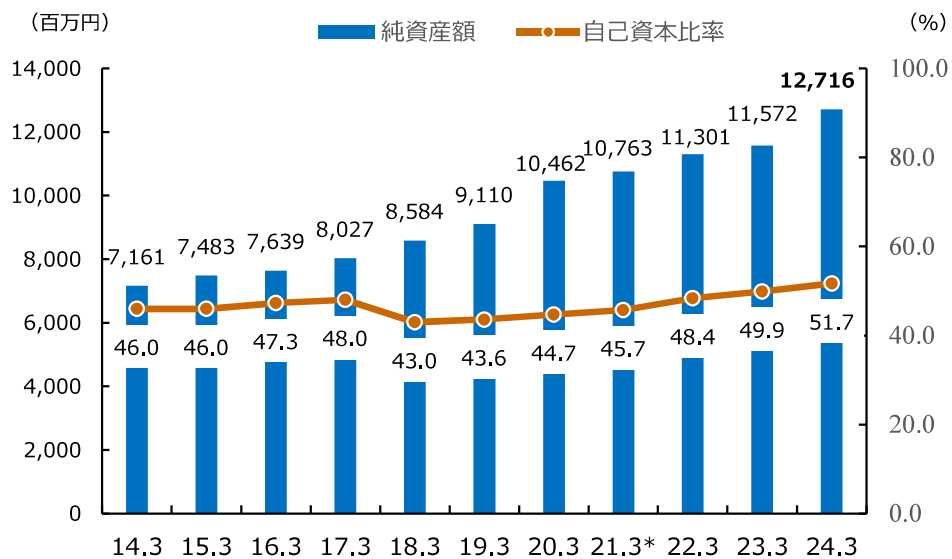
(注*) 20/3期以前は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値

主要財務データ②

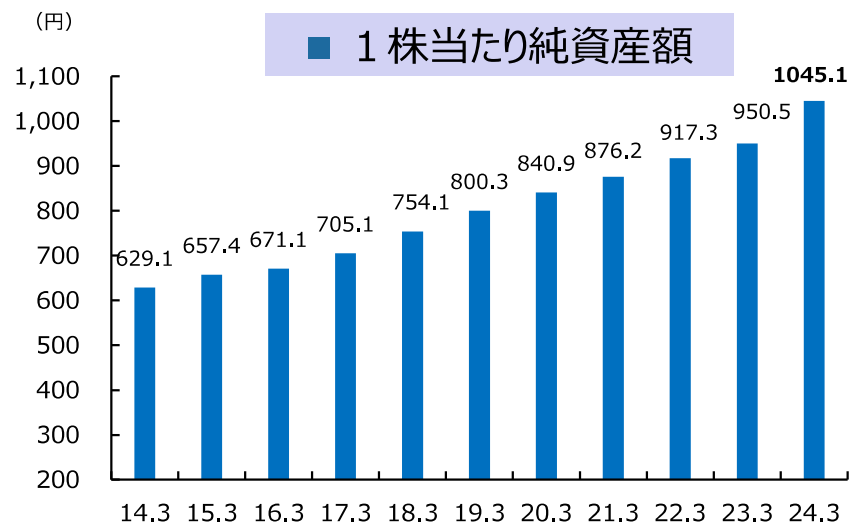
■ 総資産、総資産回転率



■ 純資産額、自己資本比率



■ 1株当たり純資産額



(注*) 20/3期以前は旧会計基準、21/3期は新会計基準に基づく試算値

〈お問い合わせ先〉
仙波糖化工業株式会社
総務部 IR担当

TEL: 0285-82-2171

FAX: 0285-84-3283

E-Mail : ir@sembatohka.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.sembatohka.co.jp/>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。